

令和5年度 かいぼり実施結果の報告

東京都では、都立公園の池の水質改善及び生態系の回復を目指して「かいぼり」等を実施し、池環境の改善に取り組んでいます。令和5年度は、4箇所の池で「かいぼり」を行い、かいぼりに併せて水質と生物のモニタリング調査を行いましたので、結果概要を報告します。

今回のかいぼり実施時の生物捕獲では、ボランティア等と連携し、都民協働で池の生きものを救出しました。皆様のご協力により、多くの在来種※1を保護することができました。

【かいぼり実施概要】

◆実施池

下記の4つの公園4つの池で実施しました。

- ・小山内裏公園：内裏池 ・石神井公園：新池（水辺観察園）
- ・小山田緑地：溜池 ・小金井公園：二つ池

◆実施項目

排水：第一段階として、生物捕獲作業に適した水位まで排水しました。捕獲後は、天日干しに向けて完全に排水しました。

生物捕獲：水生動物を捕獲した後、在来種と外来種※2に選別して、在来種保護のため外来種は駆除しました。

飼養：池に水を戻すまでの間、在来種を水槽などで保護しました。

泥土除去：天日干し前には、水質悪化の原因の一つである底泥を除去しました。

天日干し：底泥を乾燥させるため、約40～60日間、池底に日光を当てて干しました。

復水・再放流：井戸水、雨水などで元の水位に戻し、飼養していた在来種を放流しました。

※1 在来種：ある地域において従来から生育・生息している生物のこと

※2 外来種：人間の手によって、他の地域から持ち込まれた生物のこと

【モニタリング調査実施概要】

モニタリング調査は、かいぼり後の池の水質の変化と生物の状況を確認し、今後の都立公園池水質改善事業の進め方を検討するための基礎データとすることを目的に行いました。調査は今後も、継続実施する予定です。

① 水質

かいぼり前（令和5年7月～8月）、池に水を戻した後（令和6年2月）に池の水を採水し、10項目を調査しました。（池の水質は、一般的に冬季が良好で夏季は悪化する傾向があります。）

② 生物（動物）

かいぼり時は排水後に捕獲した種を記録し、個体数をカウントしました。モニタリング調査は、かいぼり前に通常の水位でたも網・カゴ網などによる捕獲及び目視により、種を記録し、個体数をカウントしました。

（かいぼり時調査は全数捕獲調査、モニタリング調査はサンプリング調査）

生物捕獲の様子（小山田緑地）



天日干しの様子（石神井公園）



生物調査の様子（林試の森公園）



コオニヤンマのヤゴ



モツゴ



ハイイログゲンゴロウ



オオクチバス



アメリカザリガニ